

## 第2章

# 基本理念と基本目標等

### 1. 基本理念

これまでの基本理念を継承し、市民一人ひとりが健全な食生活や食の安全安心に関心を持ち、それらを確立するための知識と技術を身につけ、主体的に実践することで、健康で豊かな人間性を育むために、引き続き、家庭、地域、行政、関係機関等が一体となって食育の取り組みを進めます。

**市民一人ひとりが、**

**食を通じて正しい知識と行動力を身につけ、**

**健康で豊かな人間性を育む**

## 2. 基本目標

基本理念を踏まえ、市民のめざす姿として5つの基本目標を掲げます。

基本目標 1

### **食を楽しもう**

家族や友人・仲間等みんなで食卓を囲む、食事マナーを身につける、伝統的な食文化を知り継承する、親子で一緒に料理をつくる等、食を通じたコミュニケーションを積極的に進め、食を楽しみましょう。

基本目標 2

### **食に感謝し食を大切にしよう**

食の生産、加工、流通過程を体験し、学ぶことで、食への感謝の気持ちや「もったいない」という食を大切にする気持ちを育むとともに、環境に配慮した食生活を実践する力を身につけましょう。

基本目標 3

### **食と健康に関心を持ち、実際に行動しよう**

食・食育や健康の必要性と重要性を理解し、関心をもつとともに、バランスのとれた食事や規則正しい生活習慣、朝食の大切さ等を知り、食や健康に関する正しい情報を選ぶ力を身につけ、「知っている」「関心・興味がある」といった状態から一歩踏み出し、実際に行動しましょう。

基本目標 4

### **食の安全を確保しよう**

生産者や事業者は、安全な農産物や食品の生産・供給、自主的な衛生管理等に取り組むことで、食の安全を確保しましょう。

基本目標 5

### **食の安全安心について正しい知識をもとう**

食の安全安心について関心を持ち、正しい知識や技術を身につけるとともに、生産者や事業者、行政との情報や意見交換等を通じて、食の安全安心について理解を深めましょう。

### 3. 目標指標

基本目標の達成状況を評価するため、目標指標を設定します。

基本目標	目標指標		計画策定時 (ベースライン)	中間目標値	最終目標値 (H34 (2022) 年度)
全体	食育に関心を持っている 市民の割合	全体 (15歳以上)	78.1% <sup>※1</sup>	90%以上	95%以上
		男性	69.5% <sup>※1</sup>	80%以上	90%以上
① 食を 楽しもう	家族と同居している人のうち、食事を1人で食べ ることが多い市民の割合		10.0% <sup>※1</sup>	5%以下	5%以下
	食事のあいさつができる子供の割 合	保育所・ 幼稚園児	73.9% <sup>※2</sup>	100%	100%
		小学5年生	76.4% <sup>※3</sup>	100%	100%
食を通じたコミュニケーションを心がけている 市民の割合 (いつも心がけている、または心がけている人)		54.1% <sup>※1</sup>	70%以上	85%以上	
② 食に感謝し 食を大切に しよう	食べ残しや食品の廃棄を減らす工夫、努力を いつもしている市民の割合		60.3% <sup>※1</sup>	75%以上	90%以上
	農業体験を経験したことがない市民の割合		28.1% <sup>※1</sup>	20%以下	15%以下
③ 食と健康に 関心を持ち、 実際に行動 しよう	毎日朝食を食べる市民の割合	保育所・ 幼稚園児	97.1% <sup>※2</sup>	100%	100%
		小学5年生	91.6% <sup>※3</sup>	100%	100%
		全体 (15歳以上)	88.5% <sup>※1</sup>	90%以上	95%以上
		20歳代男性	56.5% <sup>※1</sup>	70%以上	85%以上
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食 事を1日2回以上ほぼ毎日食べて いる市民の割合【中間評価から新規】	全体 (15歳以上)	-	51.4% <sup>※5</sup>	70%以上
		若い世代 (20代、30代)	-	38.3% <sup>※5</sup>	55%以上
	「栄養成分表示」を参考にしている市民の割合		56.1% <sup>※1</sup>	65%以上	75%以上
	メタボリックシンドロームの予防・改善を 半年以上継続的に実践している市民の割合		27.8% <sup>※1</sup>	50%以上	70%以上
ゆっくり良く噛んで食べる市民の割合 (ゆっくりよく噛んでいる、どちらかといえば噛んでいる人) 【中間評価から新規】		-	46.6% <sup>※5</sup>	55%以上	
④ 食の安全を 確保しよう	集団給食施設の年間食中毒発生件数		1件 <sup>※4</sup>	0件	0件
	市内製造の食品について規格基準の 年間違反件数		0件 <sup>※4</sup>	0件	0件
⑤ 食の安全 安心に ついて 正しい 知識を もとう	食品の安全性に関する基礎的な知識を 持っている市民の割合		42.6% <sup>※1</sup>	50%以上	70%以上
	リスクコミュニケーションについて言葉も意味も 知っている市民の割合		21.6% <sup>※1</sup>	40%以上	60%以上
	食品表示を確認している市民の割合		84.5% <sup>※1</sup>	90%以上	95%以上

※1：平成23年度食に関するアンケート調査（15歳以上市民対象調査）

※2：平成23年度公立保育所・市立幼稚園児対象調査 ※3：平成23年度市立小学5年生対象調査

※4：平成23年度食品衛生課データ

※5：中間評価から新規に設定した目標指標のため平成28年度食に関するアンケート調査（15歳以上市民対象調査）の実績値を記載